

第48回 北海道ジュニア 体操競技 選手権大会

開催要項

- 1 主催 北海道体操連盟
- 2 後援 北海道教育委員会・旭川市・旭川市教育委員会・旭川市スポーツ協会・STV
- 3 主管 旭川体操協会
- 4 会場 リクルートスタッフィング リック&スー 旭川体育館（旭川市総合体育館）
（070-0901 旭川市花咲町5丁目 TEL 0166-51-2244）
- 5 日程 2025年10月3日（金）～5日（日）
- 6 競技方法

（1）競技種目

男子	Aクラス	ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒
	Bクラス	ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒
	C-1クラス	ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒
	C-2クラス	マット・円馬・跳馬・鉄棒
女子	Aクラス	跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆか
	Bクラス	跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆか
	Cクラス	跳馬・鉄棒・平均台・マット

（2）器械寸度

＜男子＞ ☆Bクラス・Cクラスのつり輪及び鉄棒の高さはエバーマットなどの調整を認める。

種目	Aクラス	Bクラス	C-1クラス	C-2クラス	着地マットの高さ
ゆか／マット	12m×12m	12m×12m	12m×12m	長さ 15m	
あん馬	マット上から 105 cm 床面から 115 cm ※C-1 把手を外したもの			円馬	10 cmまたは 12 cm
つり輪	265 cm	265 cm	265 cm	—	18 cmまたは 20 cm
跳馬	125 cm	120 cm	110 cm	110 cm	18 cmまたは 20 cm
平行棒	195cm	187cm	187 cm		20 cm
鉄棒	275 cm	275 cm	260 cm	260 cm	18 cmまたは 20 cm

※高さの変更願いについて：器械寸度の高さを変更したい、とびつき台を使用したいなどの高さ変更については、監督会議までに審判長へ申し出ること。許可については、審判長の判断とする。

※あん馬で演技開始時の補助台を使用する場合は、会場で準備したものを使用する。

※つり輪、跳馬、鉄棒については、着地マットの使用を認める（追加）

＜女子＞

種目	Aクラス	Bクラス	Cクラス	マットの高さ
跳馬	1m25 cm	1m25 cm	1 m 1 0 cm	12 cm・20 cm

段違い平行棒	高棒-2m55 cm 低棒-1m75 cm バー間隔 最大 1m81 cm	鉄棒 床から 250 cm (エバーマットで高さ調整)	20 cm
平均台	1 m 2 5 cm		20 cm

☆ エバーマットの使用について

※B・Cクラスの跳馬・段違い平行棒・鉄棒・平均台において20cmのエバーマットの使用を認める。

※B・Cクラスの段違い平行棒・鉄棒・平均台において器械の中にエバーマットを使用することを認める。

7 競技規則

(1) 男子

- ① Aクラス：2025年中学校男子適用規則(U-15)【跳馬1】。
- ② Bクラス：2025年度版全国ブロック選抜U-12ルール。
- ③ C-1クラス：2005年版日本体操協会ジュニア規定演技「Level-4」および一部改定規則。
- ④ C-2クラス：2005年版日本体操協会ジュニア規定演技「Level-4」(一部変更)、および一部改定規則。
- ⑤ 全クラス全種目において終末の着地(ゆかは終末)を止めた場合、0.1の加点を与える。

(2) 女子

- ① Aクラス：2025年版日本体操協会採点規則(変更規則Ⅰ)。
- ② Bクラス：2025年版日本体操協会採点規則(変更規則Ⅱ)。
- ③ Cクラス：2025年版北海道ジュニア大会規定演技とする。

(3) 男女とも跳馬は2本演技とする。但し、男子A、Bクラスは1本演技。

(4) 団体選手権は同一ユニフォームとする。

(5) 選手は所属のマークをつけること。

8 順位の決定

(1) 体操競技 団体は4人のベスト3、個人は合計得点により順位を決定する。

9 表彰

- (1) 団体1位には優勝杯、1～6位に賞状を授与。(1～3位までには団体メンバーにも授与する)
- (2) 個人1位には優勝杯、1～6位に賞状を授与する。
- (3) 男女ABクラスでEスコアの総合得点が最も高い選手にエレガンス賞を授与する。

10 参加資格

- (1) 本年度の選手登録を完了している小中学生とする。
- (2) 参加者は必ず引率者を伴うこと。保護者の参加承諾書は大会終了まで各所属で保管しておくこと。

11 参加制限

- (1) 各クラブとも申込締切日までに北海道体操連盟に登録した選手とする。
- (2) 男子は過年度北海道ジュニア大会で、B1クラス個人総合3位以内入賞者はAクラスに、C1クラス個人総合6位以内入賞者はBクラスに出場すること。その他については、小・中学生に限らず能力に応じて各クラスに参加できる。女子は、どのクラスにエントリーしても良い。
- (3) 補欠は1チーム男女各クラス2名以内とする。但し、クラス間にまたがって補欠の登録をすることはできない。同じクラスに2チーム以上エントリーする場合、正選手はもちろんのこと補欠選手も重複できない。尚、正選手と補欠の交代は監督会議までとする。

1 2 参加申込

- (1) 所定の申込書に必要事項を記入し、期限までに下記申込先までメールで送信すること。

asahikawagym.zenjr@gmail.com 担当者：菅戸 秀俊

参加承諾書を大会終了まで、各所属で確認保管し、参加申込書に承諾確認を記入すること。

※ 申込書等の必要書類は北海道体操連盟のホームページにありますのでダウンロードして使用してください。

- (2) 抽選結果は北海道体操連盟ホームページで公開する。(メールの送信はしません)
- (3) 申込み締切期日 2025年8月4日(月)
- (4) 参加料5,300円(保険料を含む)・審判負担金は申込締切期日までに、下記の銀行口座に振り込むこと。
必ず大会番号【03】と所属団体名で振り込んで下さい。
代表者名や個人名での振込はできません。振込明細書をメール(PDF)で送信して下さい。

振込先 北海道銀行 花川支店(店番173) 普通 0097915 名義 北海道体操連盟 代表 志賀 光津博
--

- (5) 申込書記載上の注意：所属名および氏名は日本体操協会に登録したものを使用すること。
また、正式名称(アルファベットの大文字・小文字の区別も明確に)を記載すること。
氏名の漢字についても登録したものを確認のうえ記入すること。

1 3 派遣審判員

- (1) 参加するクラブは審判員を派遣するものとする。
- ①前年度の当該大会に参加出場した各クラブ(男女)選手数の全体を占める割合を計算し、帯同審判数を決定する。
- ②今年度参加出場した各クラブ(男女)選手数によって同様に次年度の帯同審判数を決定する。
- ③今年度、参加選手がいない場合、前年度の参加選手数によって割り当てられた審判を派遣すること。
ただし、解散・廃業したクラブに限り、道連より審判を派遣する。
- (2) 今年度の派遣審判数については別紙参照。
- (3) 審判員を派遣できないクラブは、次に定める負担金をもって大会本部に依頼することができる。
※ 負担金 1名につき 50,000円
※ 急病・急用などで審判業務が出来ない場合、代替審判員を用意するか、大会本部に依頼をして審判員を補充することができる。その場合の審判旅費はクラブ負担とする。
- (4) 派遣審判員名の報告は2025年8月4日(月)までに「派遣審判員報告書」をEメールで報告すること。
報告先：澤田雄介 gymnastics_yusuke@yahoo.co.jp

1 4 その他

- (1) ゼッケンは縦10×横13cmの白布地に男子は黒、女子は赤字で各自作成すること。
- (2) プラカードを各クラブで持参すること。横75×縦15cm高さ9.5cmの寸法を厳守のこと。
得点表示の際にプラカードを使用します。
- (3) 大会期間中に発生した傷害については、その補償を加入したスポーツ傷害保険の範囲とする。
大会参加に際しては、万一の事故発生に備えて引率者も傷害保険や賠償保険に加入しておくなど、万全の対策を講じておくこと。
- (4) 男子Cクラスのマットは床フロアの対角、女子Cクラスのマットはタンブリング板を使用します。
- (5) 女子ゆかの伴奏音楽は、CD 及び USB メモリー(m p 3フォーマット形式)を用いて、1曲のみ録音をして下さい。

- (6) 男子において鉄棒の高さについては、足がマットに触れる場合は安全な高さまで調節することができる。但し、その選手名を参加申込書に明記すること。(ジュニア採点規則により大会当日の申告は無効とする)